

学校 教育 目標	豊かな『感性』と確かな『学び』 【知】自ら学び、考え、ともに学び(高め)合う子どもを育てます。 【徳】さまざまな学習活動を通して感性豊かな子どもを育てます。 【体】健康で安全な生活ができる子どもを育てます。 【公】人と人、地域とのつながりを大切にする子どもを育てます。 【開】国際社会へと視野を広げる子どもを育てます。			
	創立 12 周年	学校長 近江 学	副校長 佐々木 茂	2 学期制 一般学級：16 個別支援学級：3
学校 概要	児童生徒数： 495 人 主な関係校： 山内中学校、山内小学校、元石川小学校、新石川小学校、(すずき野中学校、美しが丘中学校)			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	山内中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
コミュニケーション能力  問題発見・解決能力  自分づくり	山内中学校 山内小学校 元石川小学校 新石川小学校 美しが丘西小学校	【コミュニケーション能力】 思いやりや感謝の気持ちをもち、互いを尊重し合って生活できる子ども。 【問題発見・解決能力】 自ら進んで問題解決に取り組み、学ぶ楽しさを感じ、他者と関わり合いながら考えを深め、行動できる子ども。 【自分づくり】 学校・家庭・地域・社会などの多様ななかかわりを大切にし、社会の変化に柔軟に対応しながら未来をつくる子ども。  ＜授業のつながり＞ 小中合同授業研究会 ＜人のつながり＞ 横浜子ども会議 ＜学びの場のつながり＞ 中学校授業参観・生徒会による中学校紹介など

中期 取組 目標	じぶん大すき、ともだち大すき、ふるさと大すき、美西の子！ ○「子どもが主体的に学ぶ」授業への取り組みをさらに進める【知】 ○子ども一人ひとりの感じ方を大切にして、自分らしさを表現するとともに、他者を認め合うようにする【徳】 ○食や運動の大切さを知り、健康的な生活を送ろうとする意識を育てる【体】 ○保護者や地域、外部団体を積極的に受け入れ、人や地域とのつながりの中で学ぶ機会を増やす【公】 ○自己肯定感をもち、他者を受け入れられるようにする【開】
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 授業改善	①「自分らしさを表現し、他者のよさに気付く子どもの育成」を目指し、ICTを活用しながら教科に迫る研究を進める。 ②テーマに即した職員研修を実施する。(授業研究会4回6学年・実技研修会4-5月に一回)
担当 総務・学力保障	③一部教科分担制の推進により、教師の専門性を活かした分かる楽しい授業を目指す。
<b>徳</b> 豊かな心の育成	①教職員と児童がめあてと振り返りを明確にして行事を実施し、資質・能力の育成に即した内容の精選を推進する。 ②学年ごとで係活動や一人一実行委員などを通して児童の自己肯定感を高める意図的・継続的な活動を行う。 ③社会的スキルを育てる横浜プログラムを活用した、自分づくり・仲間づくり・集団づくりに取組む。
担当 人権・児童指導	
<b>体</b> 健やかな体の育成	①バランスイーナワークなどで得た知識をもとに、健康に良い食べ方を進んでできるよう、学校・家庭の両面から食育を進める。 ②運動委員会や計画委員会など、児童の思いや考えも取り入れながら体力向上の実践を推進していく。 ③児童自らが健康課題の改善に取組めるよう、学校保健委員会を活用し全校児童へ発信していく。
担当 健康安全・特色	
<b>公開</b> 地域協働推進	①学校運営協議会、地域協働運営本部、PTCA役員会と連携し、地域の学習素材を生かした総合的な学習を推進していく。また企業や関係機関とも連携し、児童の体験的な学習やキャリア教育を増やしていく。 ②一年を通して計画されたの避難訓練や地域と合同で行う親子防災教室の取り組みなどを活用し、児童や保護者の防災意識を育てていく。
担当 特色・特活	
<b>いじめへの対応</b>	①学級担任が一人で抱え込まないよう、様々な場で児童指導の情報共有を進め、学校全体で取り組む体制を作る。 ②教科分担制を推進し、学年や専科、専任など複数の目で各クラスを見守るようにする。 ③定期的ないじめ・生活アンケートの実施、担任と児童の面談など、様々な方法を活用して学級や児童の様子を確認する。
担当 人権・児童指導	
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>	①メンターの心配や疑問をもとに、教職員で学び合い、高め合う人材育成の仕組みを継続発展させていく。 ②教科分担制(チーム学年経営)を推進し、子どもの学力向上と心の安定、教員の働き方改革を目指しながら、組織力と教師力を高めていく。 ③働き方改革推進担当と教務が連携し、働き方を分析し各種取組の効果を検証しながら改善していく。
担当 総務	
<b>学校風土づくり</b>	①美西タイム(縦割り活動)で各学年の実態に応じたためあて(目指す姿)を設定し、どの児童も主体的に参加できるよう活動のあり方を工夫しながら、ふさわしい関わり方を学べるような異学年校中を実施していく。 ②あいさつあふれる学校を目指し、子どもが主体的に取り組める活動を推進していく。(代表委員会の議題)
担当 特色・特活	
<b>特別支援教育推進</b>	①児童支援専任(特別支援コーディネーター)を中心に、担任・保護者とのより密な連携を図り、特別支援教育を推進していく。(Gルームの活用) ②全職員が特別支援教育(インクルーシブ教育)の理解を深め、児童一人ひとりを支援していけるよう、特別支援教育研修を定期的に行う。 ③学習の基本的なルールなど全学年で統一した学習スタンダードを作成し、児童が安心して学習に取り組めるようにする。
担当 人権・児童指導、学力保障	
担当	
担当	